

テルモ株式会社

2007年3月期

決算説明会

連結決算の概要と中期計画達成に向けて

代表取締役社長
高橋 晃

07年3月期 連結決算概要

増収 ・ 増益 2 桁伸長

(1 3 期連続最高売上、5 期連続営業最高益)

(億円)

	06/3期	07/3期	増減率
売上高	2,470	2,764	11.9%
粗利益(率)	1,357 (54.9%)	1,533 (55.5%)	13.0%
販管費(率)	874 (35.4%)	949 (34.3%)	8.5%
営業利益(率)	483 (19.5%)	585 (21.2%)	21.1%
経常利益(率)	489 (19.8%)	580 (21.0%)	18.6%
当期純利益	325	372	14.7%

期中平均レート

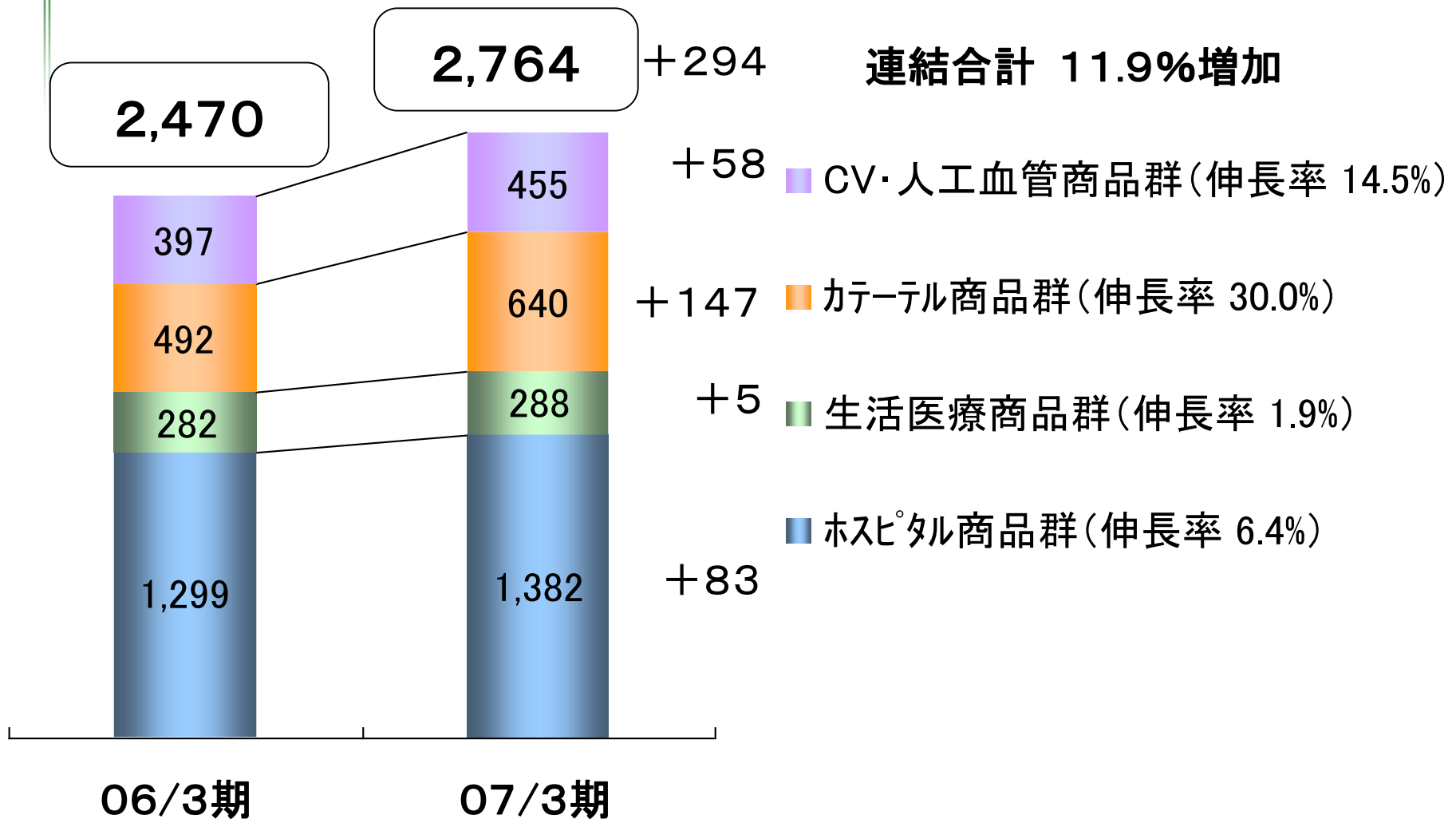
US\$ 113円
EUR 138円

117円
150円

3.2%円安
8.8%円安

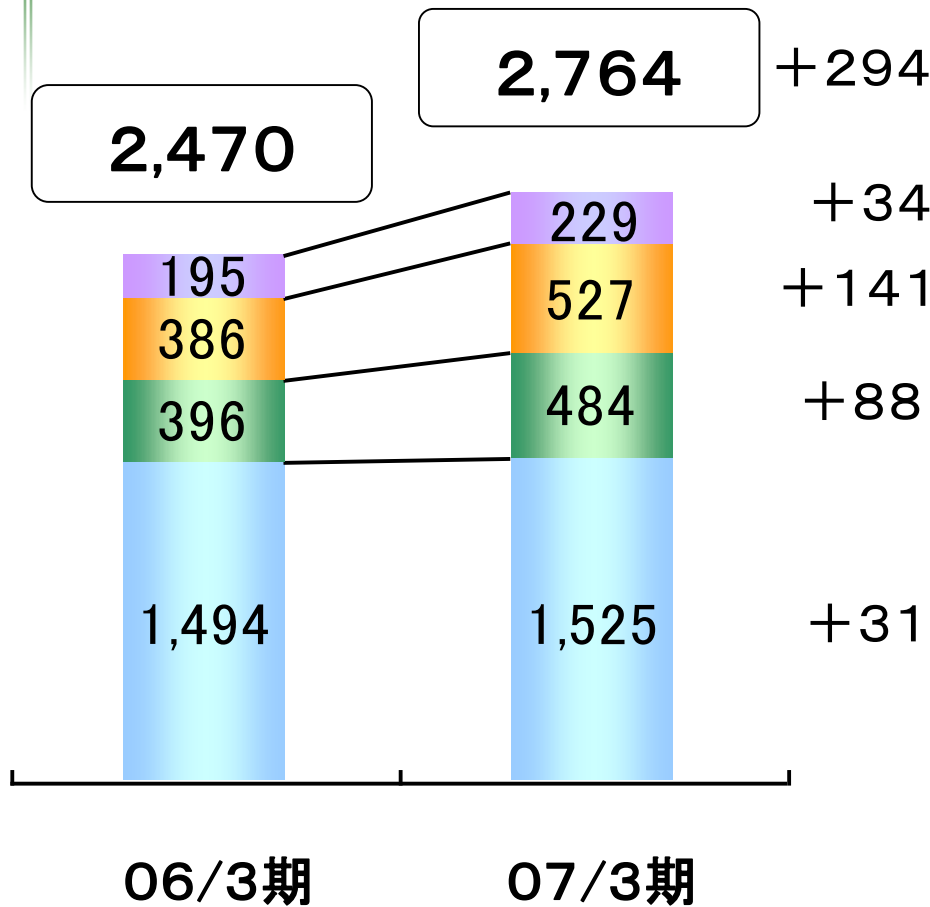
売上高(商品群別)

(億円)



売上高(エリア別)

(億円)



連結合計 11.9% (9.5%)

■ アジア(伸長率17.5%) (11.7%)

■ 米州(伸長率 36.6%) (33.3%)

■ 欧州(伸長率 22.2%) (13.3%)

海外計(伸長率 26.9%) (20.9%)

国内 (伸長率 2.1%)



為替の影響を除く

40% 海外比率 45%

粗利益率 55.5% 前年比+0.6pt

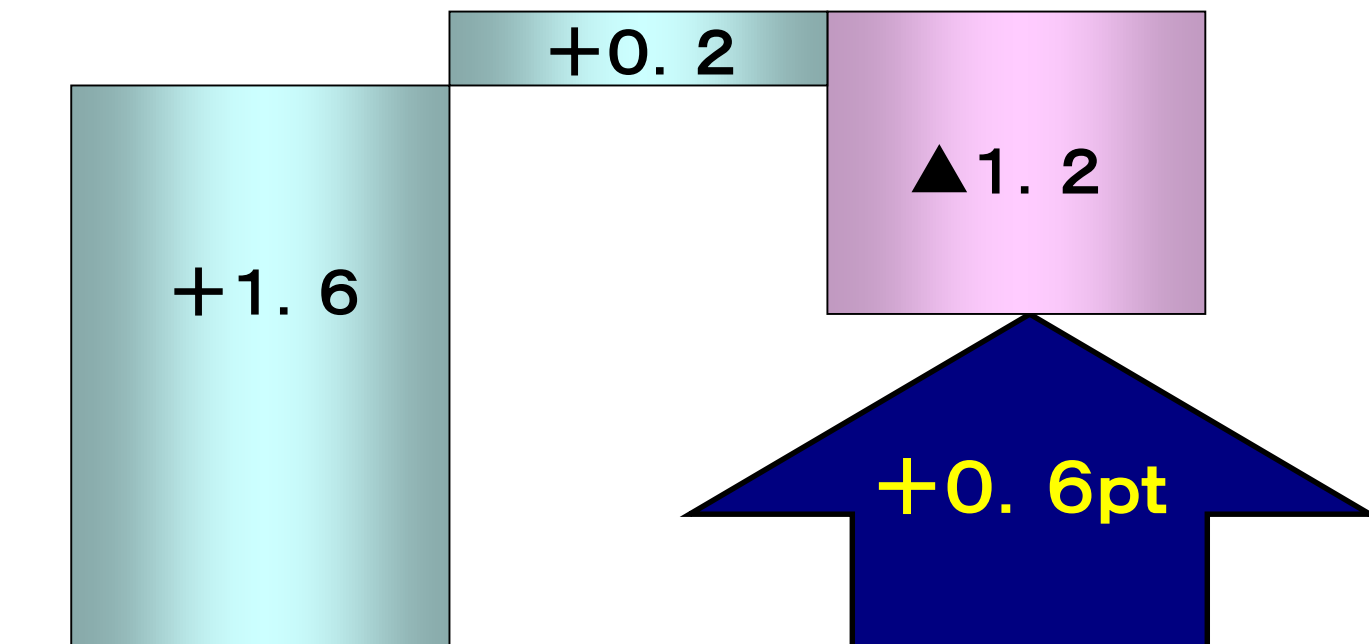
対前年プラス要因: +1.8pt

対前年マイナス要因: ▲1.2pt

高収益品へのシフト

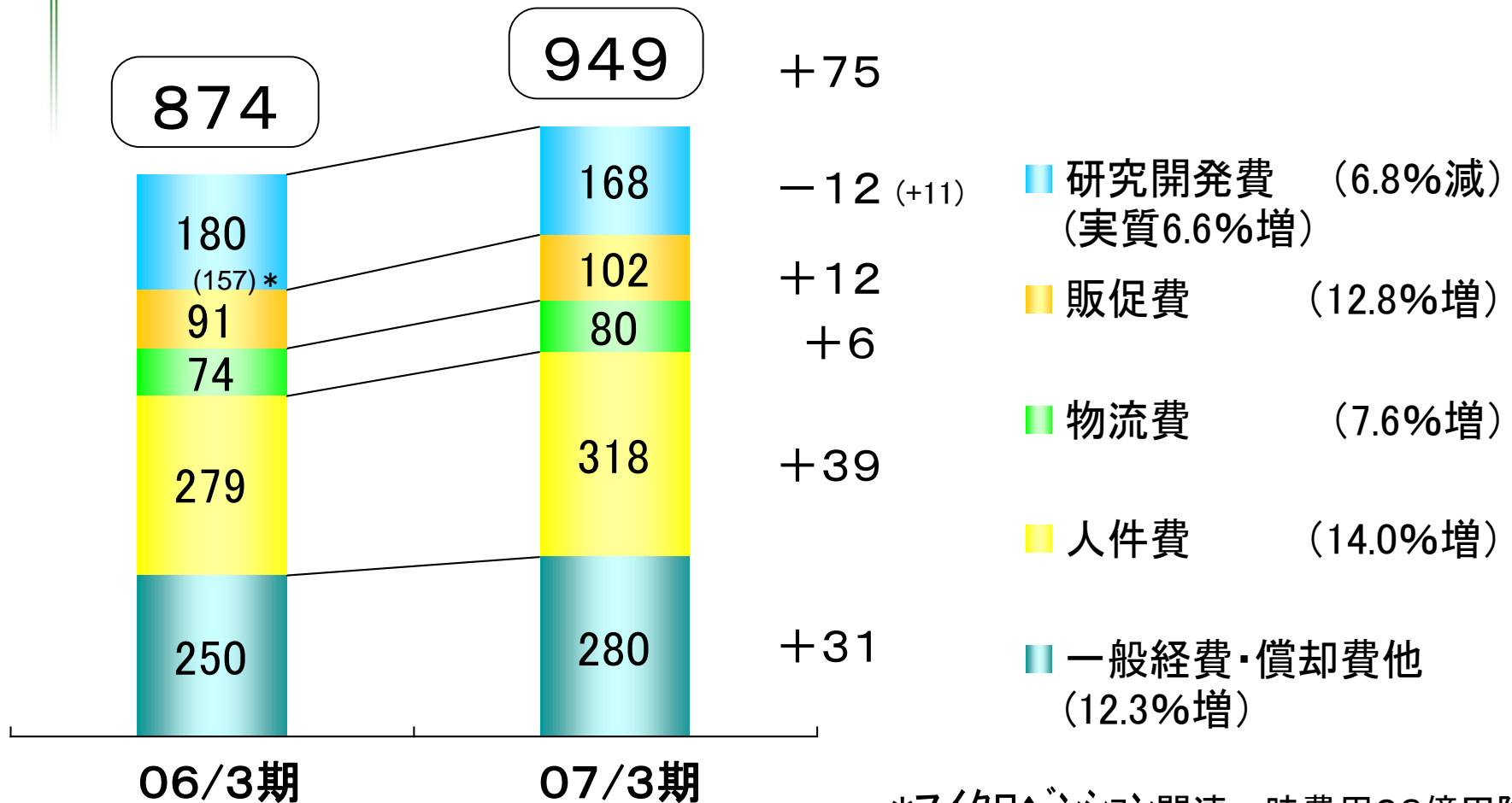
増産効果

価格下落他



販管費の内訳

(億円)



*マイクロベンション関連一時費用23億円除く

35.4% 販管費比率 34.3%

1.1ポイント減

08/3期も2桁増益をめざす (億円)

	07/3期実績	08/3期見通し	増減率
売上高	2,764	3,000	9%
営業利益(率)	585 (21.2%)	640 (21.3%)	10% (13%)
経常利益(率)	580 (21.0%)	640 (21.3%)	10% (13%)
当期純利益	372	412	11% (14%)

期中平均レート

US\$ 117円
EUR 150円

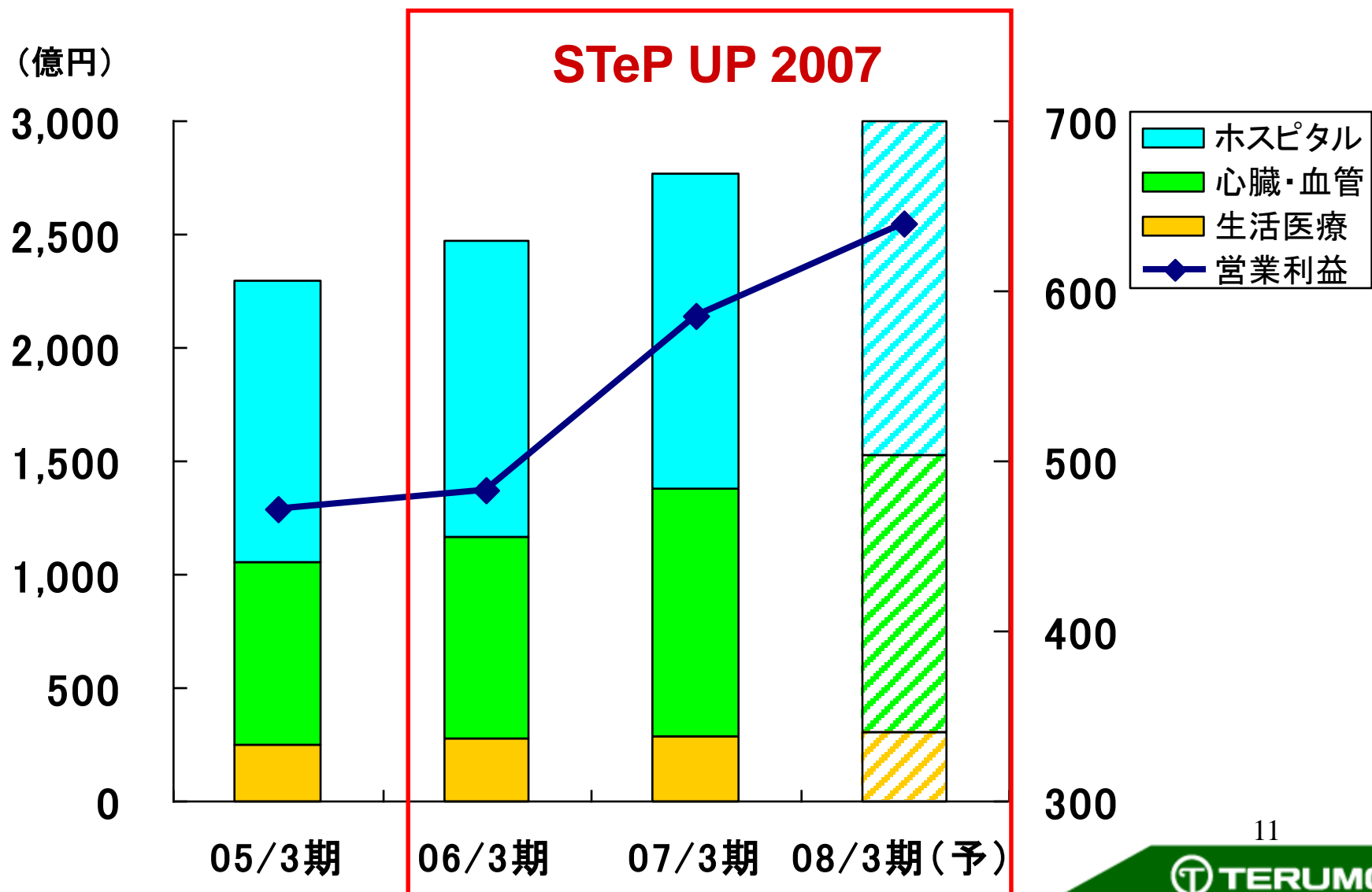
115円
150円

1.7%円高
—

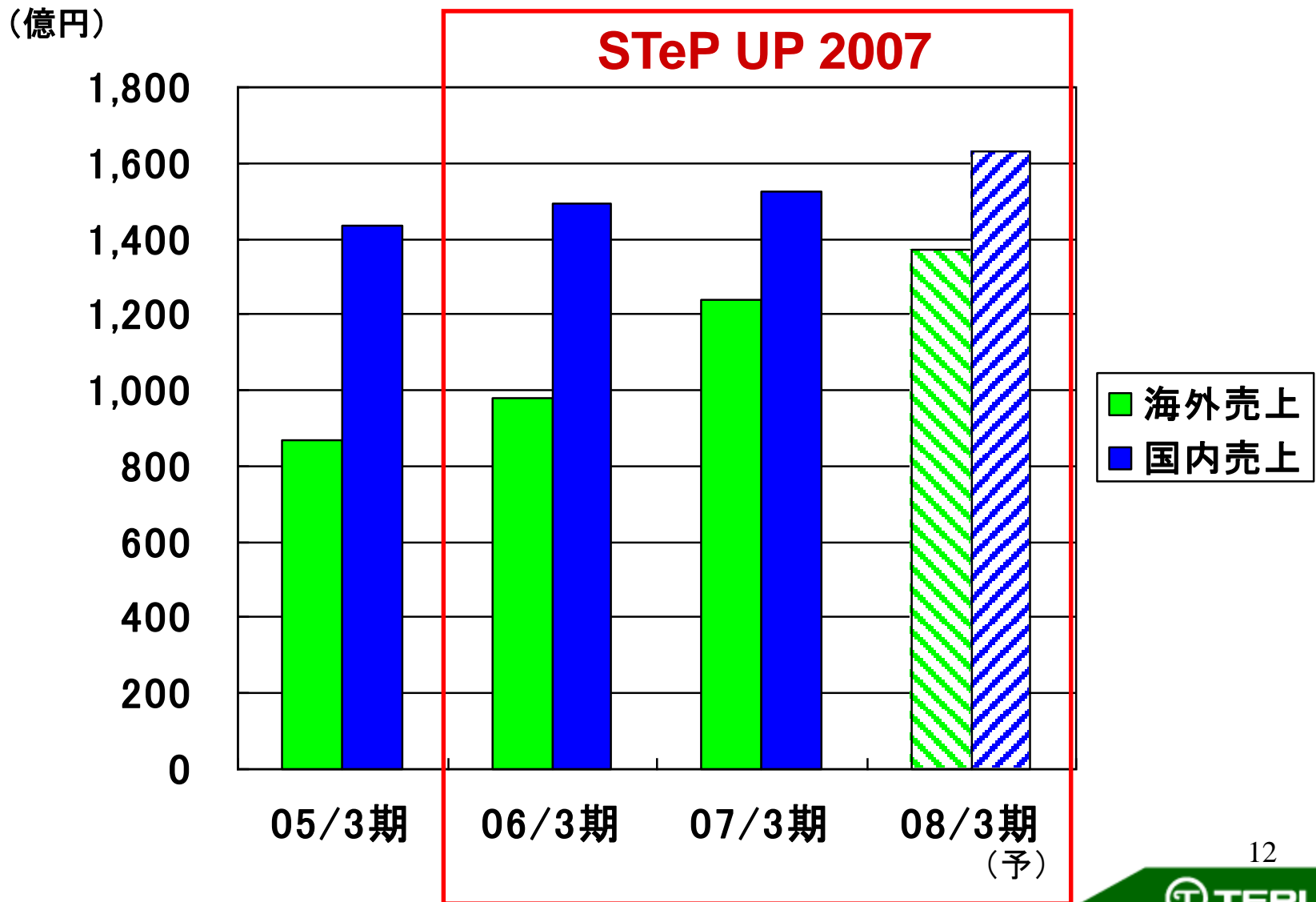
↑
税制改正の影響
を除く(減償費)

売上高3000億円に王手
～中期計画STeP UP 2007達成へ～

心臓血管が牽引、ホスピタルも堅調



海外が大幅拡大、国内も逆風の中で伸長

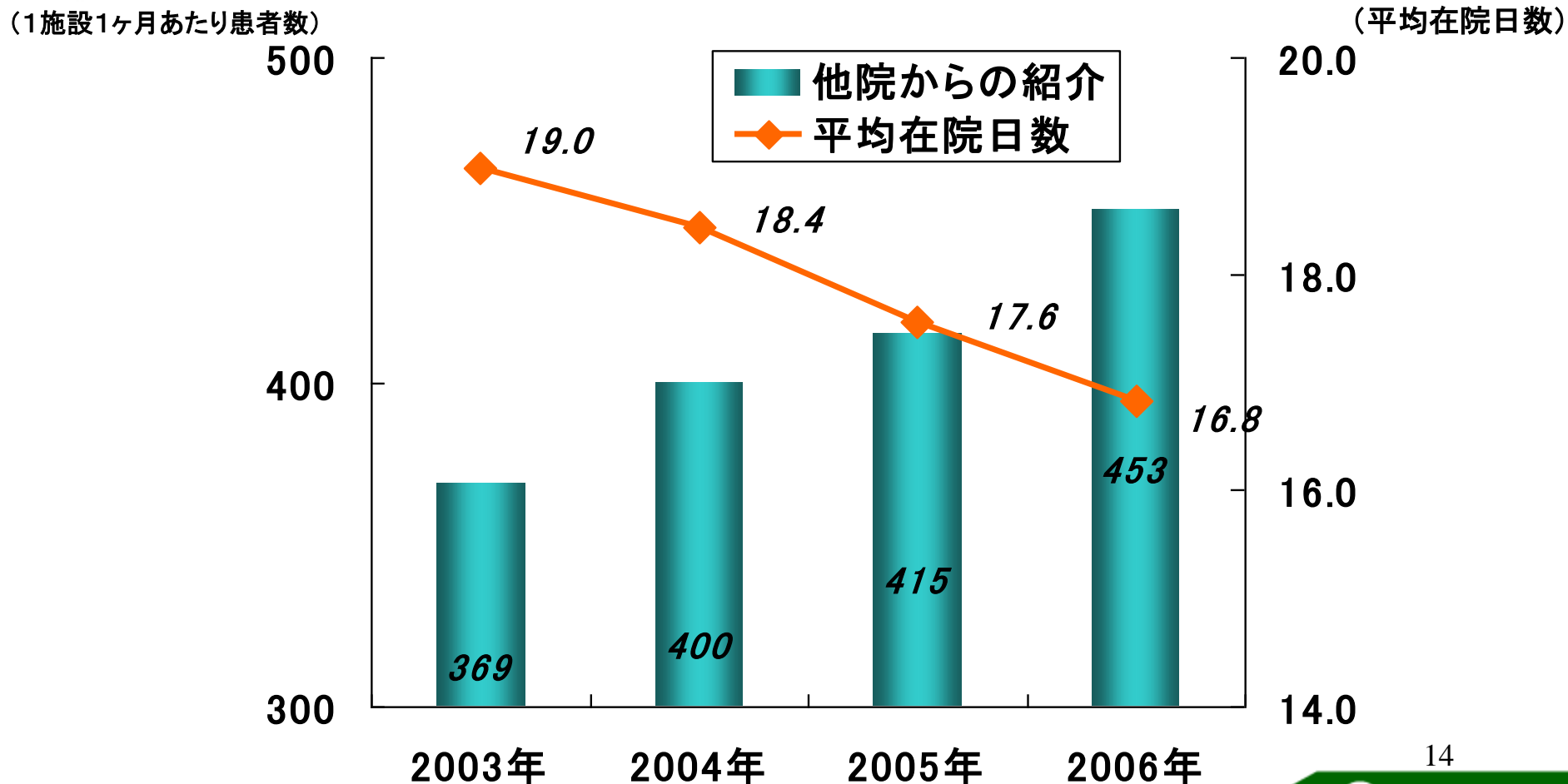


国内市場での戦略

国内市場の構造が変化

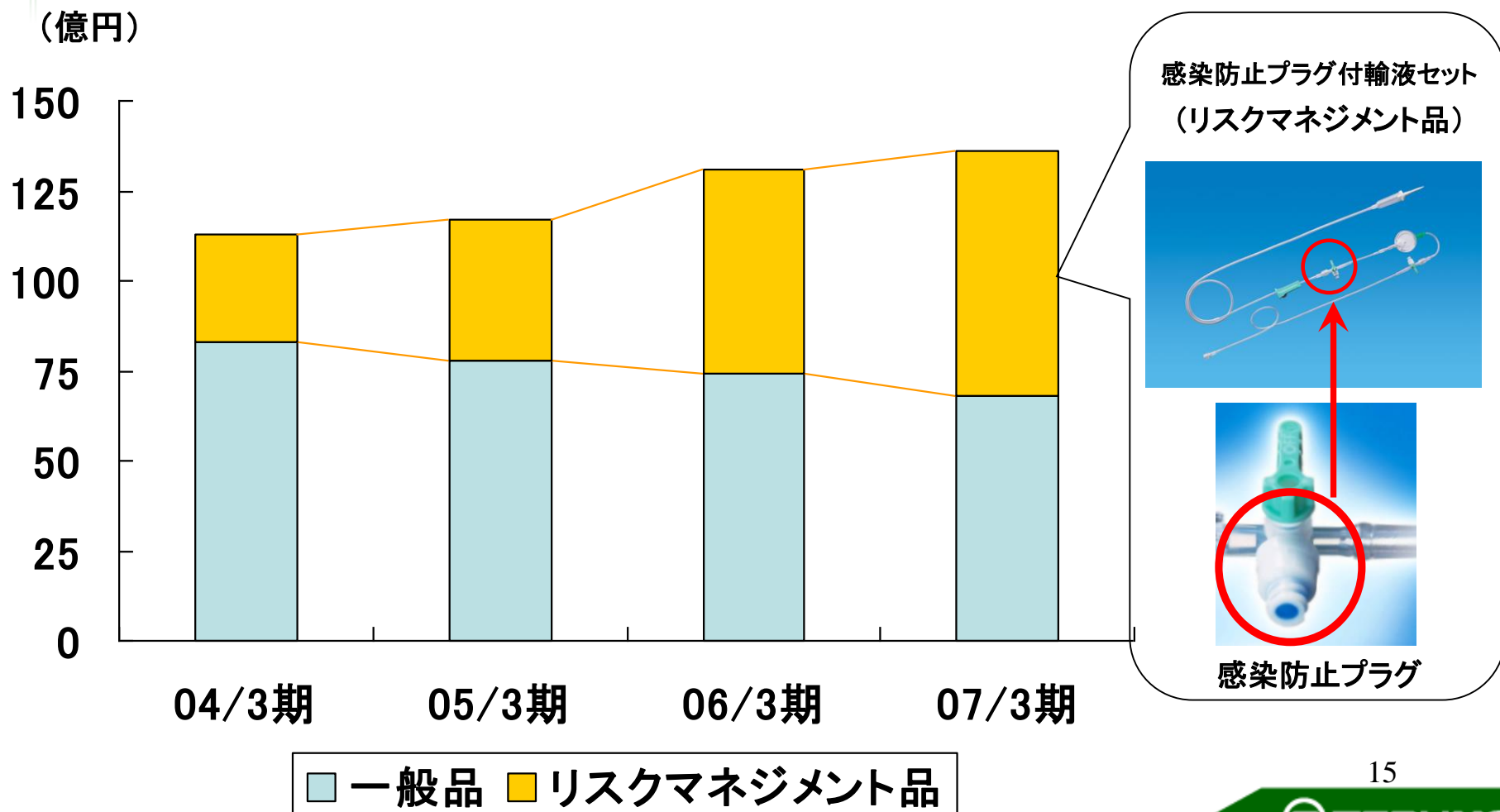
◆ DPC導入の病院が一気に拡大

- 患者・医療の集中化と入院期間の短縮

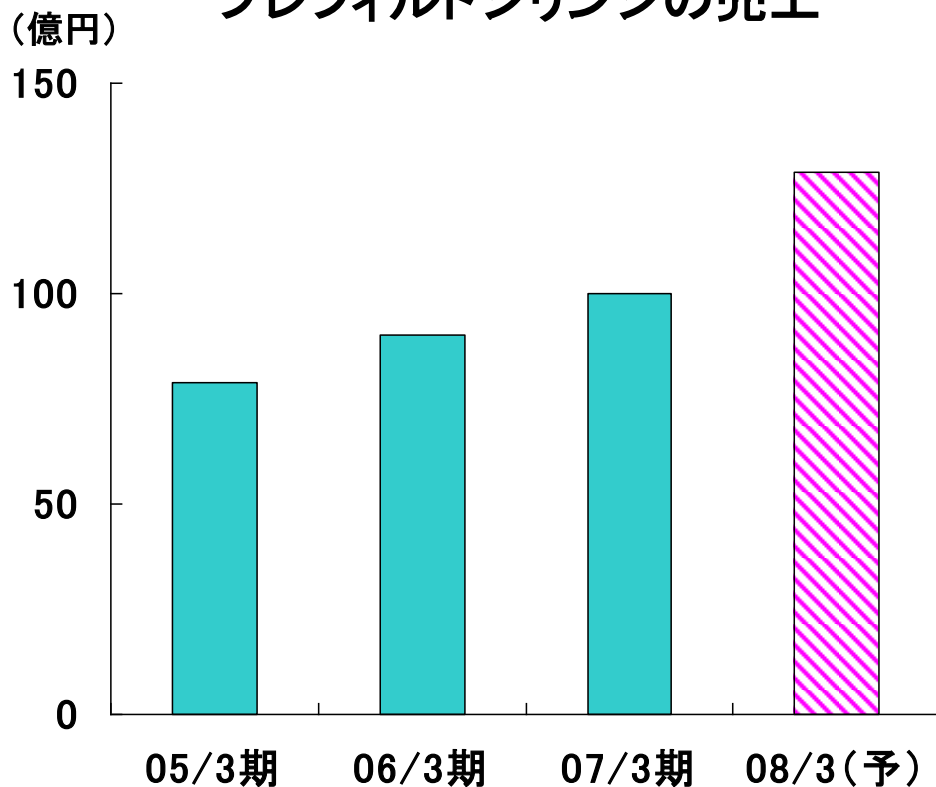


安全性・効率化が優先 ①輸液セット

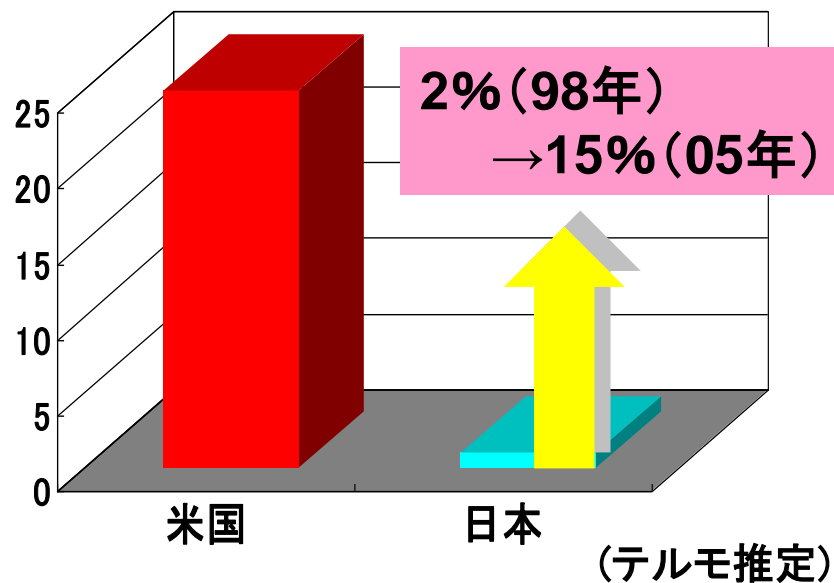
◆ リスクマネジメント対応の輸液セットが売上を拡大



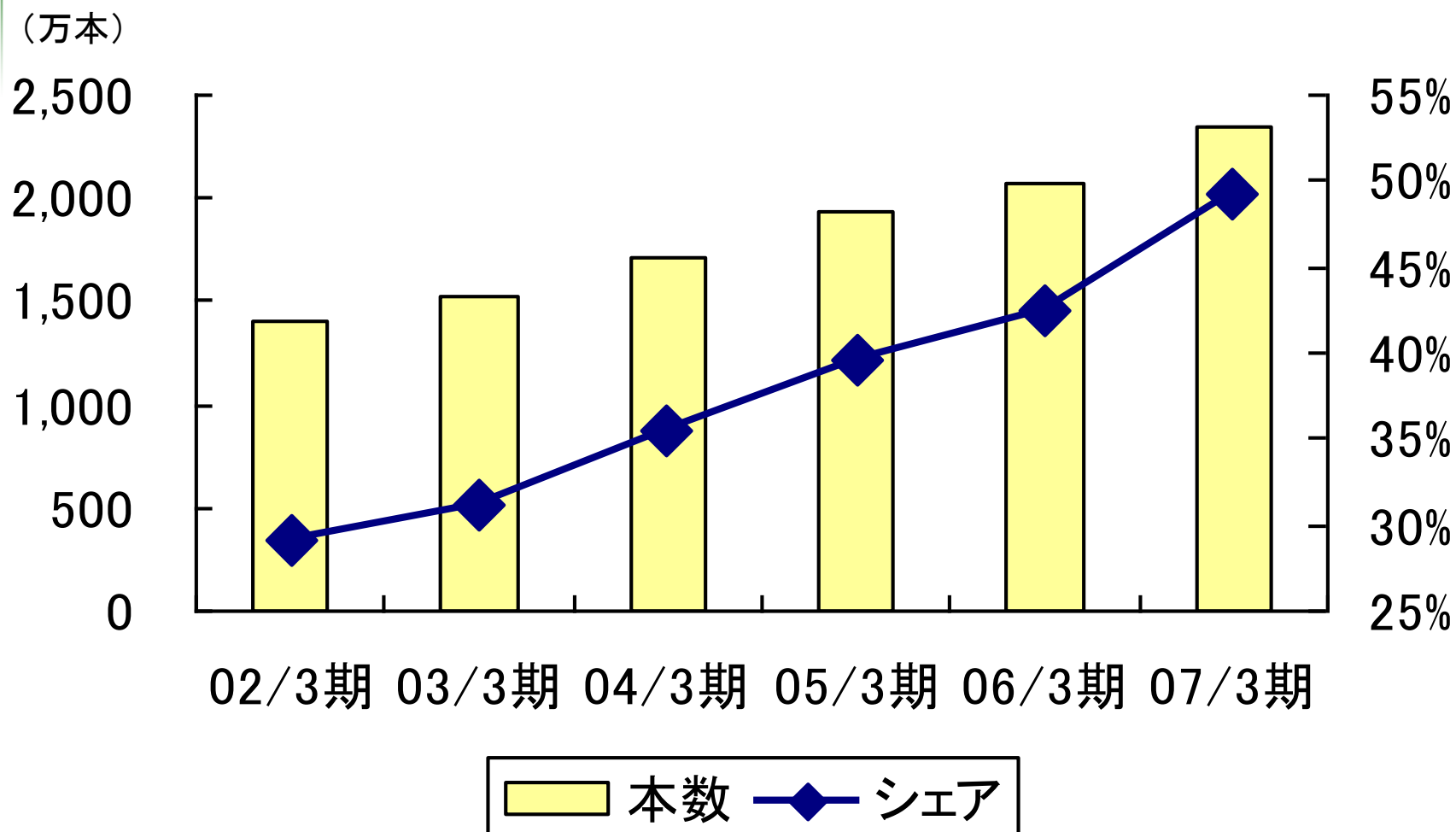
プレフィルドシリンジの売上



<プレフィルド化率>



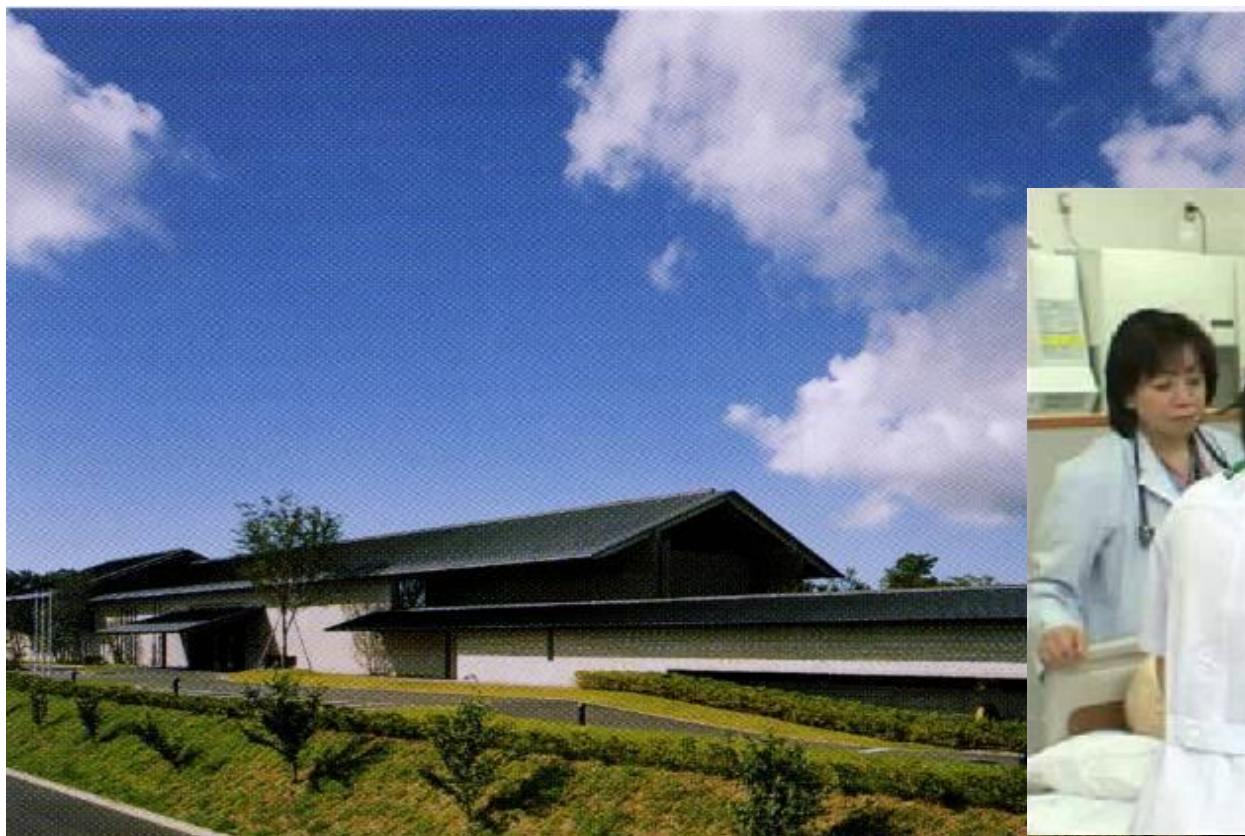
一般輸液剤“ソルデム”が伸長



(IMSデータより)

商品力依存から企業総合力のビジネスへ

◆ テルモメディカルプラネックスで病院との関係を強化

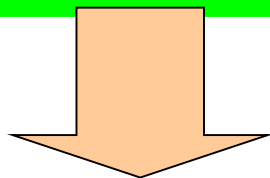


品質投資の充実で、競争力を強化

◆ 全設備投資中、32億円を品質向上に

安全性を追求する、設備の改善・更新を実施

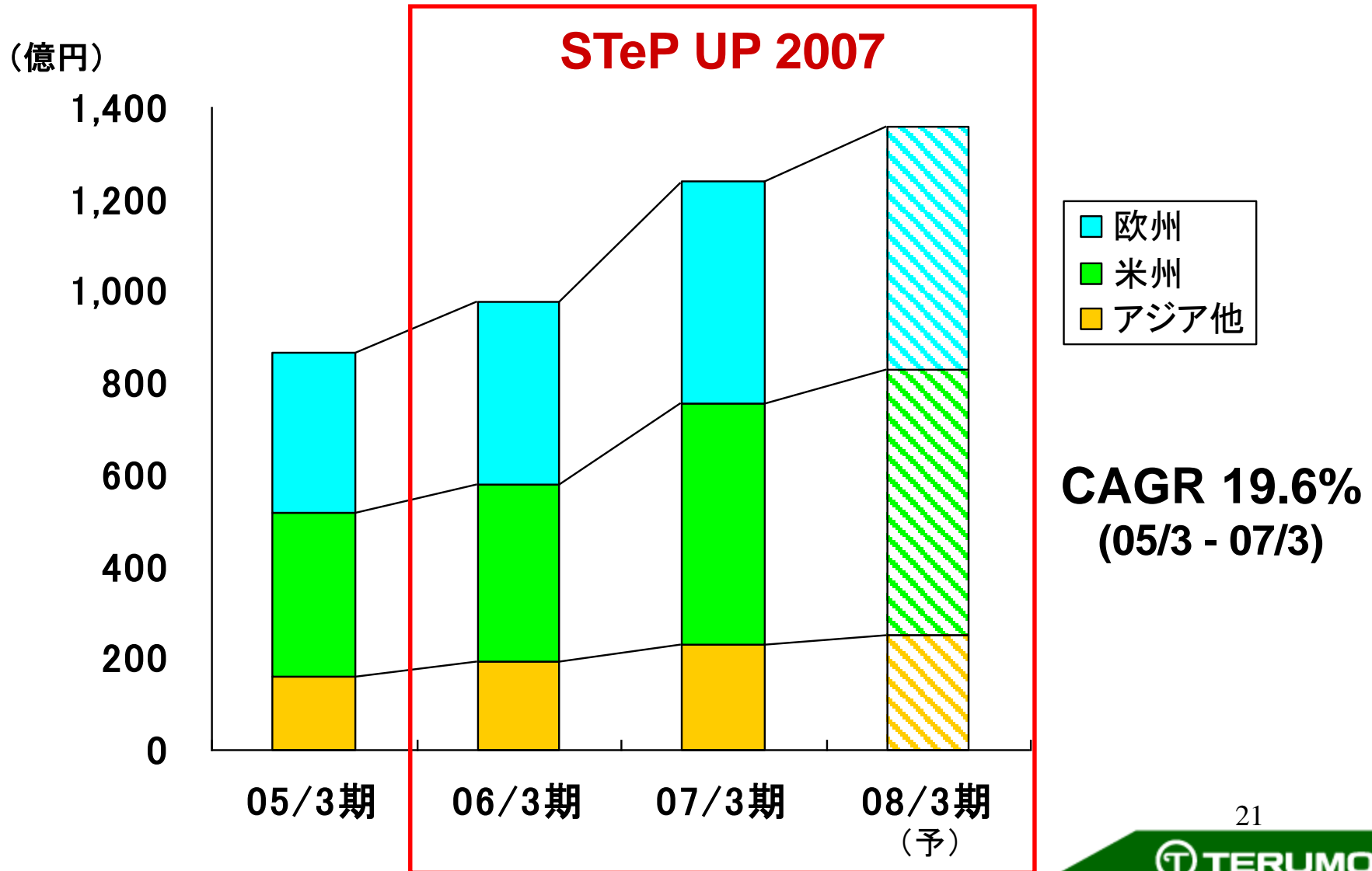
- 製造の安定化・効率化
- 品質保証・検査体制の充実



総合的な品質向上を目指す

海外市場での戦略

地域別売上推移



欧州市場

◆ カテーテルの売上げ拡大が続く

◆ バスクテック社で心臓外科市場を攻略

(億円)

600

500

400

300

200

100

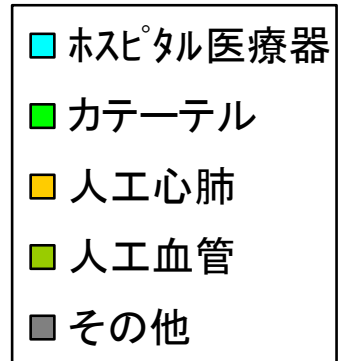
0

05/3期

06/3期

07/3期

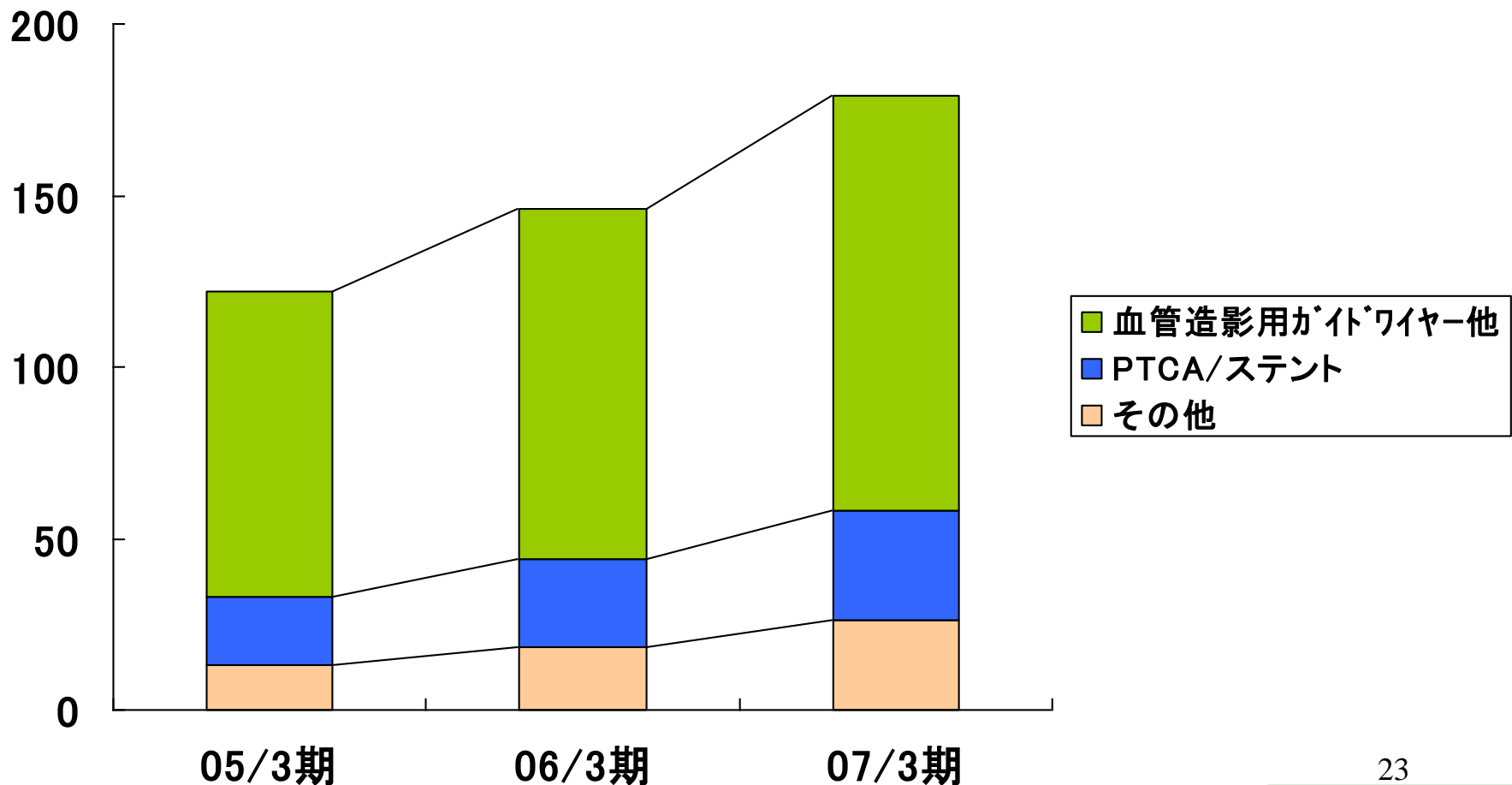
08/3期(予)



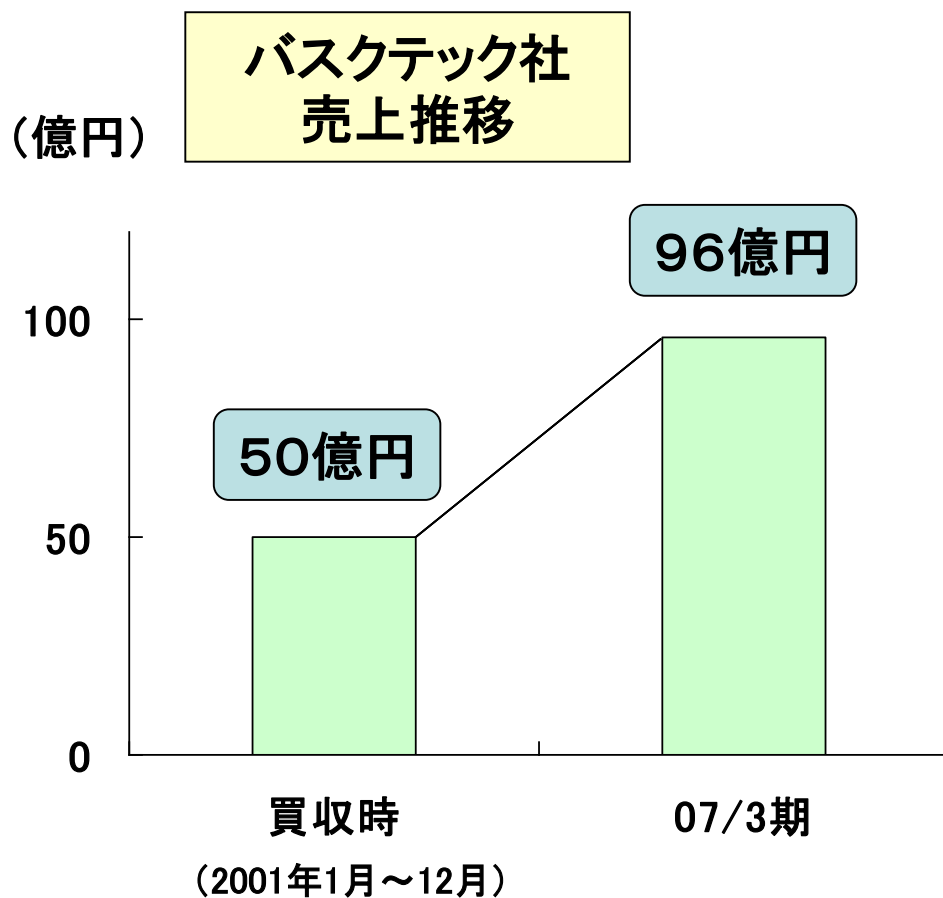
CAGR 18.0%
(05/3 - 07/3)

欧州のカテーテル事業

(億円) ◆ 商品ラインの拡大と営業力強化で伸長



バスケットの戦略



ステントグラフト(アナコンダ)

- 外科領域の拡大



人工血管(バイオバルサルバ)

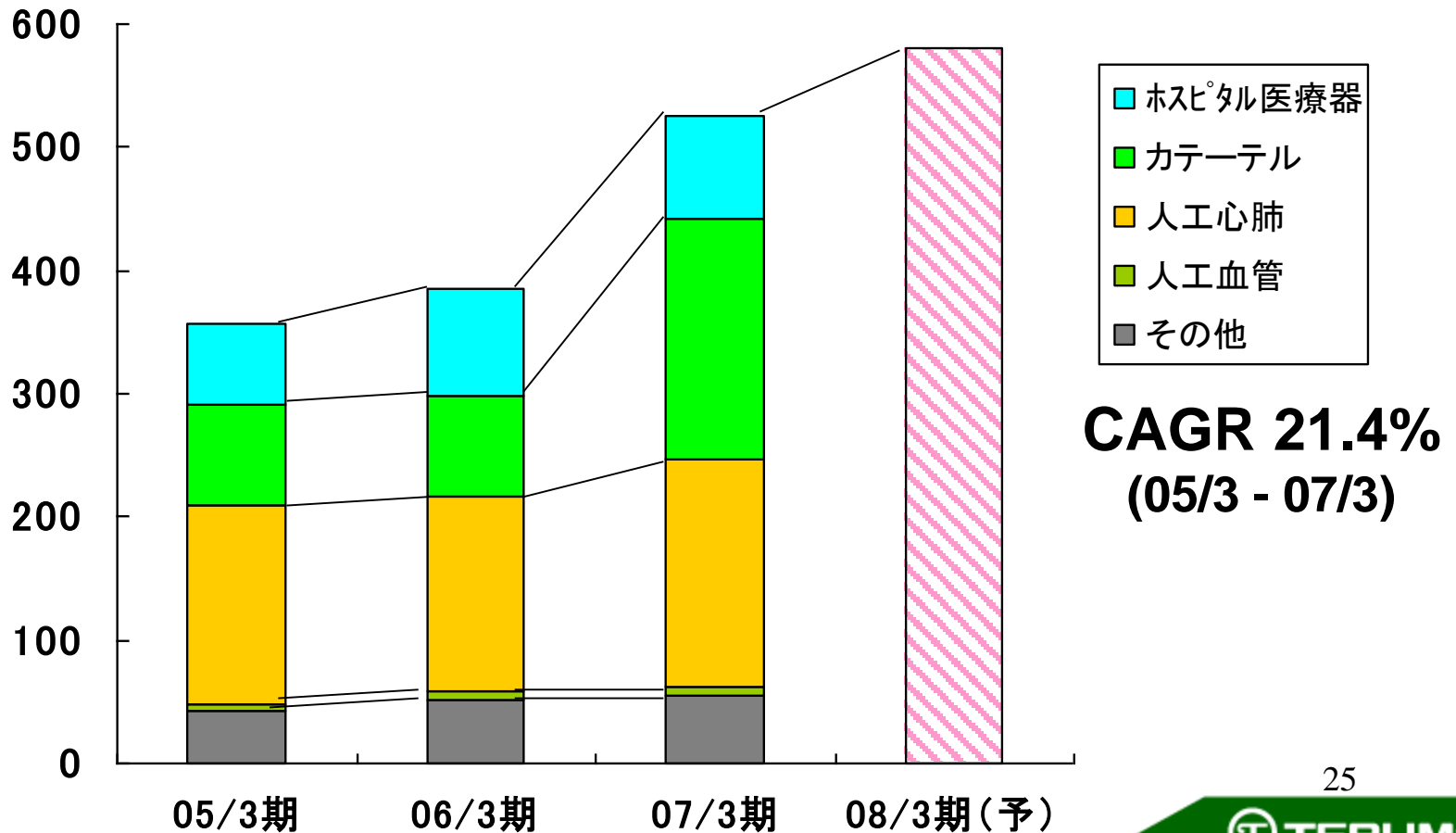
- 人工生体弁との一体型
- ※ 独コーラー社の技術を導入
- (07年3月同社生体弁事業を買収)



米国市場

- ◆ カテーテル事業が急拡大（M&A・自販に移行）
- ◆ 心臓外科領域で拡大を計画

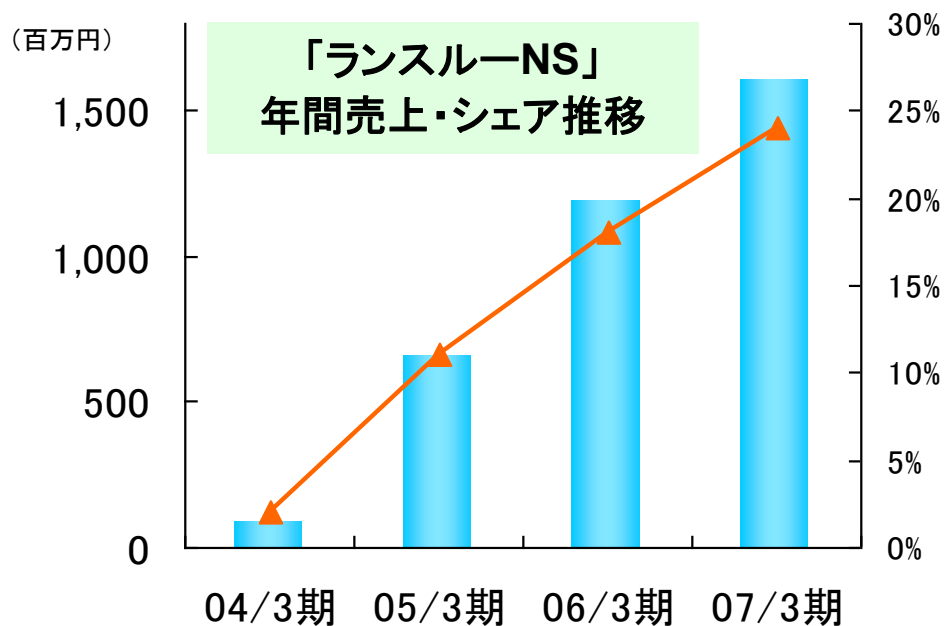
(億円)



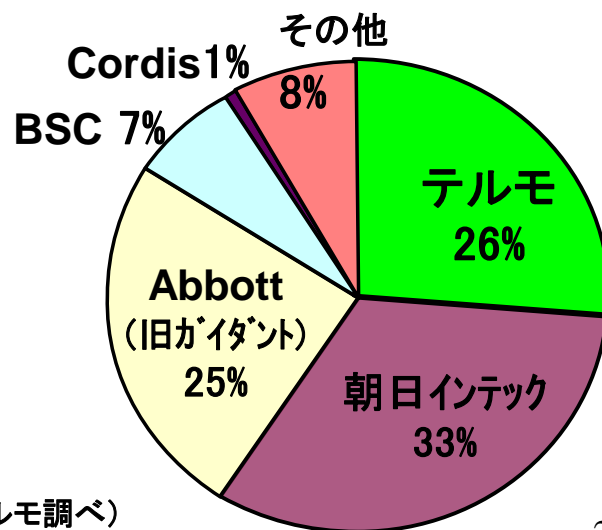
PTCA用ガイドワイヤー「ランスルーNS」を投入

◆ 造影用ガイドワイヤー米国シェアNo.1の強みを活かす

日本市場におけるPTCA用ガイドワイヤーの売上・シェア



日本市場: 62億円
各社シェア (07/3時点)



(いずれもテルモ調べ)

人工心肺事業の新製品

◆ 内視鏡下静脈剥離システム“ヴァートサフ”

- オリンパスとの共同開発、2005年に米国で発売
- 米国での売上 昨年度約9億円 ⇒ 今年度23億円を予定
- 日本で今年度本格発売

“ヴァートサフ”



従来の血管摘出術痕

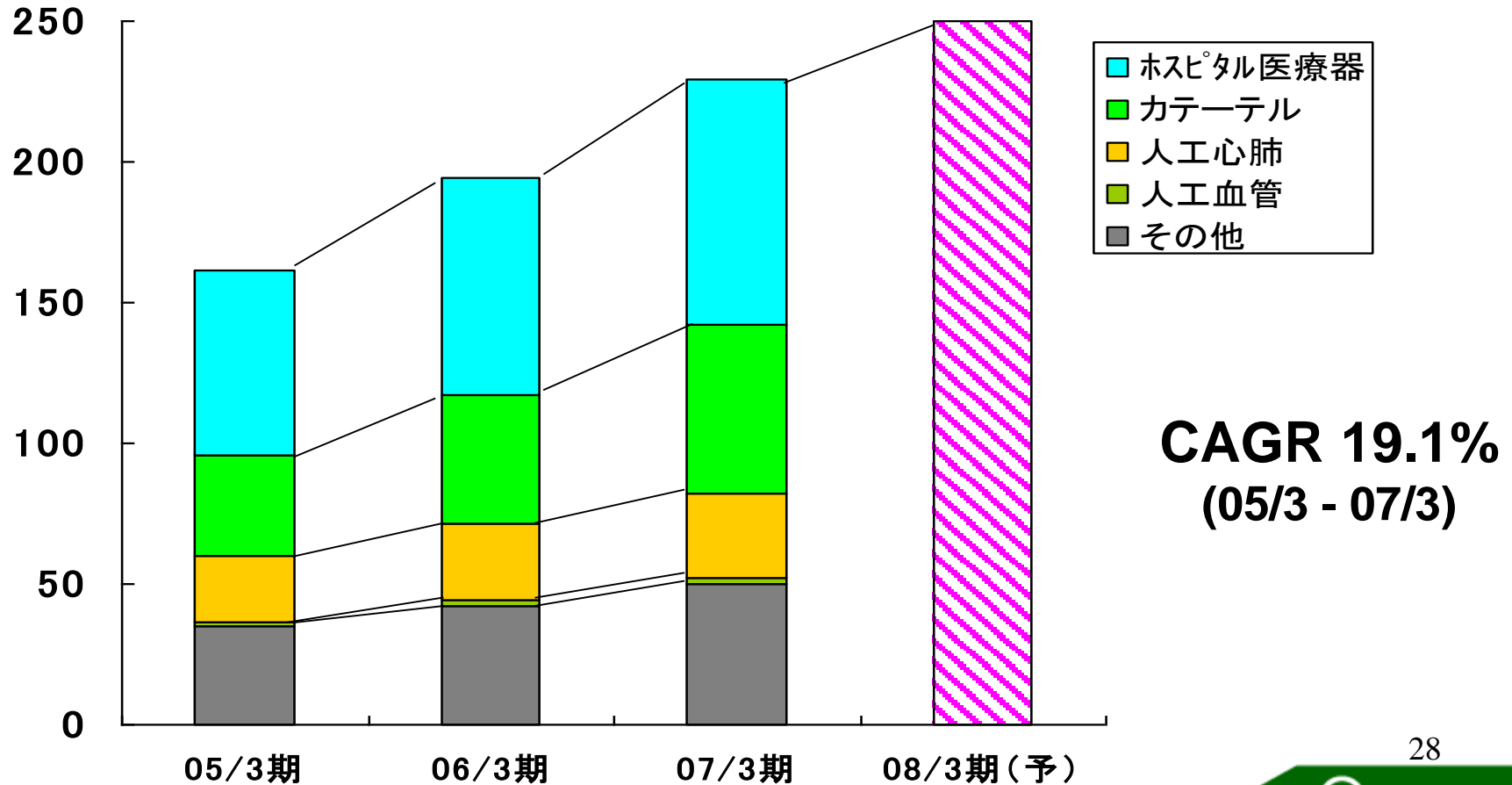


ヴァートサフでの縫合痕

アジア市場

- ◆ 日本に類似したビジネス特性
- ◆ 医療水準の向上により市場が拡大

(億円)



アジア地域別の状況



ホスピタル医療器の供給を拡大

◆ ベトナム工場の建物が5月に完成

- 完成後、順次生産設備を移管
- 医療安全に寄与する高機能商品を中心に生産



トピックス

補助人工心臓 “DuraHeart”

2007年2月にCEマークを取得

◆ 欧州

- 今年度上期に発売予定
- バスケテック社が販売

◆ 米国

- 今年度中に臨床試験申請予定

◆ 日本

- 厚労省が早期承認を検討
- 内閣府総合科学技術会議で取り上げ



ドラッグエリ्यूーティングステント “Nobori”

◆ 欧州

- CEマークの申請中、結果待ち
- 取得後、欧州とアジアでの販売を予定

◆ 日本

- 臨床試験の準備中



ドラッグエリ्यूーティングステント
“Nobori”

医療機器のプレゼンスが向上

国策としての取り上げ

「医療機器産業の国際競争力を強化」

2006年

経済成長戦略大綱

骨太方針2006

2007年

イノベーション25

新健康フロンティア戦略

内閣府 総合科学技術会議(4/24)

日本の優れた科学技術として「DuraHeart」を紹介



Council for Science and Technology Policy

総合科学技術会議

▶ English

総合科学技術会議は、内閣総理大臣、科学技術政策担当大臣のリーダーシップの下、各省より一段高い立場から、総合的・基本的な科学技術政策の企画立案及び総合調整を行うことを目的とした「重要政策に関する会議」の一つです。

内閣府トップへ
科学技術政策へ
原子力政策へ
関連機関へ

▶ 総合科学技術会議の概要	新着情報
▶ 活動予定	【平成19年4月25日】 第66回総合科学技術会議配付資料を掲載
活動状況	【平成19年4月23日】 第66回総合科学技術会議開催案内を掲載(PDF形式)
▶▶ 答申・意見具申等	【平成19年4月17日】 第66回総合科学技術会議開催日時を掲載(PDF形式)
▶▶ 本会議・専門調査会等	【平成19年4月13日】 第43回生命倫理専門調査会開催案内を掲載(PDF形式)
▶▶ 諮問第5号「科学技術に関する基本政策について」に対する答申	【平成19年4月11日】 第65回総合科学技術会議議事要旨を掲載
▶▶ 科学技術政策シンポジウム	過去の新着情報
▶▶ 分野別推進戦略策定	
▶▶ その他	
▶ パブリックコメント	
総合科学技術会議 パンフレット	






次のステージに向けて“STeP UP”の年に

- ◆ 中期計画の売上目標に王手、営業利益の目標も引き上げ
- ◆ 国内は、企業の総合力の戦いで病院から選ばれる企業へ
- ◆ 海外は地域特性に合わせた戦略で引き続き事業を拡大

《おことわり》

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が、記載されている予想・見通しとは異なる場合があります。ご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レート、競争状況などがあります。